



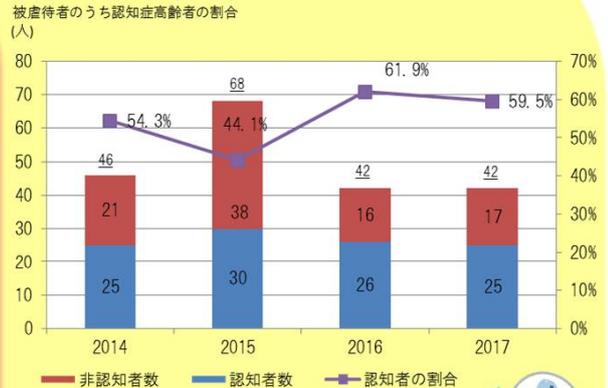
7分野の取組「高齢者の安全」

～認知症に対する理解を深めよう～

高齢者のけがの原因に、高齢者に対する虐待があります。2017年度では、**被虐待者のうち約6割が、認知症の高齢者**であったことをデータが示しています。（右グラフ参照）

認知症は誰にでも起こりうる脳の病気によるもので、**2025年には65歳以上の約5人に1人が認知症である見込み**といわれています。

「認知症になったら、入院や施設を利用せざるを得ない」と思われがちですが、**家族や地域の支え**があれば、住み慣れた地域で「その人らしい生活」を続けることができます。言い換えると、認知症の人が住み慣れた地域で、その人らしい生活を続けていくためには、**地域の「支える力」**も重要ということです。そのため、家族だけでなく地域の方々も認知症について正しい知識を学び、認知症の人や家族を温かく見守っていくことが必要です。



【出典】長寿あんしん課受付分
【データ】市、両性、65歳以上、2014～2017年度



鹿児島市では、認知症について正しい知識を持ち、認知症の人や家族を応援する「**認知症サポーター**」や認知症と思われる一人暮らしの高齢者などの見守りや家族への支援を行う「**認知症等見守りメイト**」を養成しています。

受講についてのお問い合わせは、**鹿児島市長寿あんしん相談センター** まで

TEL : 099-813-8555 / FAX : 099-813-1041

認知症サポーター

対象者：市内に住んでいる方、市内の各種学校に通学している児童、生徒、学生及び市内の事業所に通勤している人

受講料：無料

講座内容：ビデオ上映等含む60～90分の講義

認知症等見守りメイト

対象者：鹿児島市でボランティア活動ができる人

受講料：無料

講座内容：講座（座学）が1.5日と、半日の実習



セーフコミュニティ情報お届け掲示板

第6回

セーフコミュニティ推進フォーラムを開催します!

日時：平成31年1月17日（木）

14時～16時（13時30分開場）

場所：鹿児島市民文化ホール 第2ホール

◆転倒予防ミニレクチャー◆

- ・転倒骨折予防、脳の活性化に効果的な「らくらく体操」などの実演
- ・健康な体を維持するために、日々の生活で気を付けたいこと



◆講演会◆

テーマ：気象と防災 ～情報の活用～

講師：気象予報士 半井 小絵 氏
(なからい さえ)



気象災害に対する備えや、自助・共助の重要性についてお話しします。

◆オープニングアトラクション◆

吉田南幼稚園（※）の年長さんによる、マーチング演奏お楽しみください!

（※）「子どもの安全」分野モデル園



鹿児島市では、WHO（世界保健機関）が推奨するセーフコミュニティに取り組み、**28年1月29日に国際認証を取得**しました。

鹿児島市 危機管理局 安心安全課 セーフコミュニティ推進係（市役所東別館3階）
TEL : 099-216-1512 FAX : 099-226-0748